

照明用有機ELパネルをサンプル出荷 事業会社への衣替えも準備

照明用有機EL(エレクトロ・ルミネッセンス)パネルの事業性検証会社である Lumiotec (ルミオテック) 株式会社(社長:重永久夫、本社:山形県米沢市)は、2010年2月から有機ELパネルのサンプル出荷を開始する。早期供給を求める広範な顧客の要望に応えるもので、その反応を見極めつつ、7月から年間4万枚規模の生産に踏み切る計画。Lumiotecは2013年までには商業ベースの量産出荷を開始する方針で、事業性検証会社から事業会社への衣替えの準備も進めていく。

今回供給するのは、145mm×145mmの照明用有機ELパネル、コントローラ、ACアダプタの3点からなるデザインサンプルキット。価格は8万円(税抜き)。販売については、国内向けはホームページ(HP)にオンライン販売システムを立ち上げて対応し、海外向けはHP等を介して個別に応じる。申込受付開始日は2月15日。

Lumiotecは、今回のサンプル供給により実際に有機ELパネルを手にとった照明デザイナーや照明器具設計者などの意見を聴取しつつ、既存光源の代替だけでなく、有機ELパネルの幅広い用途への応用や、新たな需要開拓の可能性を追求していく。

Lumiotecは、三菱重工業、ローム、凸版印刷、三井物産の各社と城戸淳二が出資して2008年5月に発足した世界初の照明用有機EL専門会社。これまでトレードオフの関係にあるとされてきた、高輝度化と長寿命化を両立させる素子構造の開発や、材料の利用効率を格段に高めた高速の大型リニア蒸発源式インライン成膜装置の実現などを受けて、有機ELパネルの製造準備を進め、現在、米沢市にある生産工場にパイロット量産ラインを構築している。

有機ELパネルは、面発光で極薄・軽量であることや、紫外線を含まず均一でムラのない柔らかい光を実現できること、さらには、水銀など有害物を含まず、省エネ化によるCO₂の削減効果が見込めるなど、白熱球・蛍光管などの従来型光源やLEDにはない優れた特長を持ち、次世代の照明用光源として期待されている。

Lumiotecは、今回のサンプル供給などを通して照明用有機ELパネルの事業性を見極め、早期の本格的な量産・販売体制の構築に繋げていく。



【問合せ先】

Lumiotec株式会社東京事務所

TEL : 03-5418-6035 / E-mail : lumiotec_info@lumiotec.com

以上